

Benesse Art Site Naoshima 法人様向け研修プログラム

2020年11月現在

ベネッセアートサイト直島 https://benesse-artsite.jp/

「ベネッセアートサイト直島」とは?







地中美術館 写真:大沢誠一







ベネッセアートサイト直島は、瀬戸内海の島々でアートプロジェクトを展開している活動の総称です。 アートを鑑賞していただくことだけが目的ではなく、日常の喧騒から離れた島という環境で普段とは違う 時間の流れの中でアートと向き合い、自分にとっての「ベネッセ=よく生きる」とは何かを考えていただ く場になることを目指しています。そのために、自由な解釈を導く現代アートを中心に、自然・建築・歴 史・文化・人々の営みなど周りの環境と豊かな関係性を感じられる作品が選ばれており、アーティストが それぞれの場に合わせて構想し滞在制作したものも多くあります。アート作品は様々な場所に点在してお り、歩くこと、眠ること、考えること、すべてが鑑賞体験に繋がっています。

Benesse Art Site Naoshima 法人向け研修プログラム BASN Learning & Practice (BASN L&P)

学びと体験を効果的に組み合わせ繰り返すことによって、主体的に考える場をつくります。

学び・・・

LEARNING

PRACTICE

・・体験・訓練

②地域資源の認識

地域の持つ歴史・文化・暮らしの魅力や価値、近代社会が与えた影響を 知る。

①BASN手法の学び

アート・建築・自然が関係し合う場 がつくられたプロセスと理念を学ぶ。



③主体的思考の経験

アートを手法として主体的に感じ考える 姿勢を身に着ける。(VTS)

4実践

自分の力と五感を使って、アート・地域・社会の関係性について考察し、これからの自分/社会の在り方について自分なりの考えを持つ。

表現・共有

ここのテーマ設定は参加者と相談の上決定。

自分の考えたことを表現することで整理する。また、他人の意見を取り入れることで自分の考えを変観的に捉え深めたり、共成力を良に善ける

BASN Leaning & Practice (BASN L&P)

プログラムの目的

【法人に対して】 BASNの場での体験を通して、 アートを手法とした地域への関わり方や変化を知る/体験することによって、"よく生きる""良いコミュニティ"のあり方について主体的に考え、理念や文化活動について考える契機とする。

※具体的なテーマ設定は法人様とのご相談による

ア人影感活値もドえの文の解されて、

【参加者個人に対して】 作品鑑賞を通じて新しいものの見 方、創造的思考の経験をし、視野 を広げ、多様な現代社会への対応 力を身に着ける。また、他人の多 様な考えを認め、共感力を養う。

BASNで実現できること

考える環境の提供

現代アートによる自由な解釈

関係性の広がりによる視点の多様さ

思考と体験が途切れな いストーリー性 対話の質の向上

理論+体験

1

プログラム制作の流れ

A.法人/団体が主催の場合

法人/団体:テーマ設定BASN:コンテンツ案出し

法人/団体:プログラム制作 BASN:プログラム協力、行程作成、手配、 見積もり

実施

法人/団体:参加者の声、成果提供

B.法人/団体とBASNが共催の場合

ご要望を聞きながらテーマをご相談し設定

BASNよりプログラム案を作成し、 打ち合わせにより確定

BASN:プログラム作成、行程作成、手配、 見積もり

実施

法人/団体:参加者の声、成果提供

項目	場所(例)	内容・ねらい
①BASN手法の学び アート・建築・自然が関係し合う場がつ くられたプロセスと理念を学ぶ。	・レクチャールーム、 パークホール ・ベネッセハウス ミュージアム	・直島レクチャーやゲスト講演を通じ30年の経緯や、地域と共に歩んできたプロセスをなぞることで、BASNの基本知識や手法を知る。 ・初期のプロジェクトを背景などの解説を交えながら代表的な作品鑑賞を通じて実感につなげる。対話を用いて建築と自然とアートが関係し合っていることに気づく等、視野を広げる。
②地域資源の認識 地域の持つ歴史・文化・暮らしに触れ、 魅力や価値に気づく。	・本村地区 ・直島銭湯 ・直島コメづくりプロ ジェクト ・女文楽、公共建築 ・産廃見学	・島の歴史・文化・町政を学んだり、土地特有の昔ながらの暮らしの形を知り、本来の地域資源や島民の意志が反映されることでアートの価値が広がることを知る。 ・島の人との関わり方を見る(角屋や銭湯など)。 ・島民との座談会を通じて、アートプロジェクトがどのように地域に影響しているのかを知る。文化活動の成果や意味について考える。
③主体的思考の経験 アートを手法として主体的に感じ考える 姿勢を身に着ける。	・ベネッセハウスミュージアム・李禹煥美術館・豊島横尾館・犬島家PJ	・作品を通じて、自由に想像し、表現し、肯定される経験をすることで、 主体的に考えたり視野を広げる訓練を行う。自分についても他人について も多くの気づきを得る。段階的に回数を重ねることが理想。
④実践 個人でアート・地域・社会の関係性について考察し、これからの自分/社会の在り方について自分なりの考えを持つ。	・地中美術館 ・豊島美術館 ・犬島 くらしの植物園	・③までの経験を生かし、個人の力で作品を鑑賞し、気づきを記録する。 ・一連の体験を振り返ることでBASNの理念体験を自分なりの言葉にする。 ・この作業を通じて自己の気づき、自己肯定感、自信を養う。
5表現・共有 自分の考えをアウトプットする。他人の 意見を取り入れることで自分の考えを客 観的に捉え深めたり、共感力を身に着け る。	・レクチャールーム、パークホール	・④で考えたことを発表(表現)を通じて整理する。 ・他人の意見も聞くことで解釈の幅を広げ、個人個人の意見を尊重する機会とする。 ・参加者側の目的に応じたディスカッションやアウトプットに繋げるテーマ設定とする

プログラム例:行程イメージ

※テーマに沿ってカスタマイズ提案いたします。

	1日目	2日目	3日目
テーマ	BASN×個人の体験 @直島	地域×アート @直島、豊島	現代社会とこれからを考える @犬島
午前中	_	直島 本村地区	犬島精錬所美術館
午後一1	BASNのメッセージ・活動を 知る	豊島にてフィールドワーク	犬島 家プロジェクト 犬島 くらしの植物園
午後一2	ベネッセハウス ミュージアム 李禹煥美術館	豊島美術館	テーマについてのディスカッ ション
振り返り	今日の気づき、共有	今日の気づき、共有 最終日テーマ発表	発表・意見交換

1か月後にレポート提出・個人/法人